

町公民館だより

編集 日野町公民館 〒689-5131 日野町黒坂1243番地1
電話：74-0212 FAX：74-0105
E-mail：kouminkan@town.hino.tottori.jp

第11回おしどり学園 開催
(2月17日=町老人福祉センターにて)
偉大な「たたら製鉄」の
歴史を学ぶ!

2月のおしどり学園は「日野郡のたたらについて」と題して、日野町歴史研修会の川上護さんに講演していただきました。

「かつてたたらは、日野郡の一大産業で、江戸から明治時代にかけて日野郡内に住んでいた人は、少なからずたたらに関係していると思って間違いない」と川上さんは話します。日野といえば『たたら』で、たたらとは鉄を作ることであり、鉄は文明の母なりとも言われており、最近では、都合山たたらの発掘調査やたらの楽校根雨楽舎・大宮楽舎の設立、小説『TATARU』（松本薫著）の発行など、たたらブームが訪れています。

日本の鉄生産は弥生時代（3〜6世紀ごろ）から行われていたと考えられています。8世紀の書物（古事記・日本書紀）にたたらの文字があり、そのころ、たたら製鉄が始まったとされるそうです。日野地方では700年くらい前からたたら製鉄が行われ、江戸時代には鉄の利用が増えたこともあり、江戸時代末には、中国地方の和鉄生産は全国の9割に達したとのことです。



歴史をひもとく川上さん(中)



たたら製鉄の偉大な歴史に興味津々の学園生

日野地方でたたら製鉄が盛んに行われた要因について川上さんは「①原料となる砂鉄が豊富、②木炭用の広い山林原野が多かった、③砂鉄収集の鉄穴流しが容易な地形が多かった、④たたら関連に対する労働力があつた（冬の間はたたらに従事し、それ以外の季節は農業に従事する農家が大多数であつた）⑤運搬用の牛馬が多く、飼育も容易だったこと」と説明されました。

明治40年5月、近藤家の専属職人数は7312人で、日野の経済はたたらを中心に発展してきたともいえます。日野町とは切っても切り離せない、たたら製鉄の歴史。学園生は興味深い話に耳を傾けていました。

おしどり学園生を募集しています

▼平成24年度 おしどり学園開講式のお知らせ

平成24年度おしどり学園開講式を開きます。

日時

4月20日(金)

午前9時30分から

場所

町公民館



町内のどなたでも気軽に参加できる生涯学習の場で、毎月、学園生のにぎやかな声が公民館に響いています。

いつでも入校できますので、皆さん、参加してみませんか。初めての方大歓迎です!

▼一般教養講座

毎月、自然・人権・歴史・健康など、あらゆるテーマで講師を招き、学習を深める講演会です。

▼グループ専門講座

料理や手芸、生花、写真、ゴルフ、健康教室、お話しをする会などのグループで活動しています。楽しく学び、生きがいづくり・仲間づくり・健康づくりを行います。詳しくは、4月配布予定のチラシをご覧ください。

一般教養講座だけ、グループ専門講座だけの参加でもかまいません。年齢制限もありません。ぜひお越しください。

和気あいあい、協力して作ります



男性の料理教室 開催
見てごしない、うまげ
なやつができたわ～

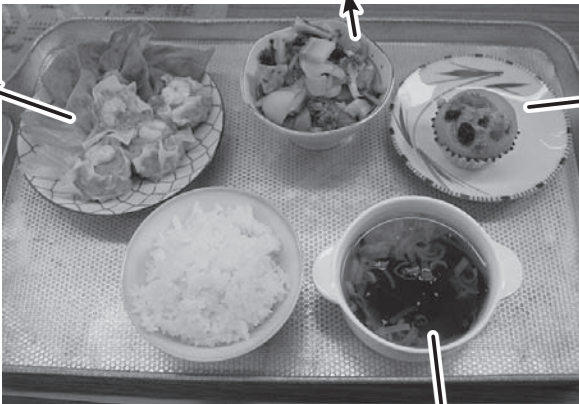
2月26日、毎年恒例となった男性の料理教室を開きました。

今回は、『本格中華に挑戦！』と題し、えびシューマイ、ネギとわかめのスープ、温野菜の中華風サラダ、マーラーカオの4種類に挑戦。初めて参加された人も毎回参加される人も、同じ料理を協力して作ることで、すぐに和気あいあいに。調理場には笑い声が響きました。お昼前になり、おいしい中華料理が完成すると、参加者はほっとした表情になりました。

「やっぱり自分で作る料理は一味違うわ」「なかなか上手いこと出来たんじゃないか」と、皆さん楽しそうに中華料理を頬張っていました。

温野菜の中華風サラダ

えびシューマイ



マーラーカオ(中華風蒸しパン)

ネギとわかめのスープ

今年度も多くの地区で 出前公民館を開催しました



合唱の様子。大きな声で歌うって楽しいなあ

今年度は延べ30地区で出前公民館を開催することが出来ました。来年度は、さらに多くの地域の皆さんと触れ合いながら出前公民館を開催していきたいと思えます。

出前公民館は、映画会、料理教室、合唱、パソコン教室、ニューススポーツ体験など、さまざまな企画を用意しています。3人でも4人でも、希望があれば公民館職員がかけつけていきます。自治会だけでなく、仲良しグループでも利用できます。気の知れた友人と、憩いの時間を過ごしませんか。



料理教室の様子。火の大きさはこれくらいね



料理教室の様子。みんなで食べるとおいしいなあ